



1 夏休みの学～「八紘一宇」とは？

今年の夏休みで戦後七十二年を迎えます。夏休みには戦争について考える機会をつくってください。校内にもヒントがあります。生徒南玄関横の石碑「八紘一宇」（当時の兵庫県知事・坂千秋が寄贈？）について調べてみましょう。

誰が判断して移設したか不明ですが、附属住吉小学校の閉校時、埋もれていた石碑の全てを現在の場所に移したようです。「不戦の誓い」「恒久平和」の反面教材として残存させたのかもしれませんがね。



2 夏休みから一足制開始

夏休みが始まる7月21日から一足制に移行します。玄関にあるシューズは全て今日中に撤収してください。明日より下足で校舎を利用しますが、一部の教室は外靴から履き替えて利用します。教室前にシューズロッカーとスリッパが設置されるまでは（8月28日以降）、各部顧問の指示で上靴やスリッパに履き替えて利用して下さい。

【 土足禁止：保健室、図書室、調理室、CALL、情報Ⅰ・Ⅱ、集会室、学習室 】

9月1日から完全実施となります。8月末に設置される新しい玄関マットよりも、一人ひとりが校内や体育館に「汚れを持ち込まない」という意識の方が防汚効果はあります。雨天時や運動場利用後は水分や土砂が持ち込まれないように、より高い意識を持って学校施設を利用して下さい。

3 市バス利用の登校について ←先に裏面の「19系統学校回り運行の経緯」を読んで下さい

（1）登校時の原則

- ① 19系統利用者の乗車停留所は「深田池公園」のみとする。
- ② 19系統「鴨子ヶ原回り」には乗車しない。「学校回り」に乗車して登校できるように、部活動等の開始時間を計画する。

（2）平日の市バス19系統の利用について

- ① 平日の市バス利用は原則通りとする。
- ② 長期休業中の平日も原則通りとする。ただし、午後から登校する場合は深田池停留所から乗車し、混雑している時は前後期とも徒歩通学を判断する。

（3）土日祝日の市バス利用について

- ① 土日は休日ダイヤとなり「鴨子ヶ原回り」のみの運行となる。「深田池公園」停留所から乗車し、混雑している時は前後期とも徒歩通学を判断する。
- ② 長期休業中も土日は「鴨子ヶ原回り」のみの運行となる。可能であれば長期休業中の土日には活動しないように計画を見直す。活動する場合は、3-①に準じる。

市バス 19 系統「学校回り」が運行されることになった経緯

附属住吉中学校時代は、市バス 19 系統には通勤・通学する人と甲南病院へ行く職員・患者が乗車し、附属生は徒歩通学でした。中等が開校して最大 1,000 名の生徒が狭い路を徒歩で行き来することは混乱するという理由で、市バスとスクールバスを併用した通学方法となりました。

中等が開校して 3 年目まで 19 系統は全便が「甲南病院・鴨子ヶ原回り」で運行をしていましたが、後期課程が始まる 4 年目から数便だけを「学校回り」とするダイヤに改定しました。5 年目以降は利用者増加と早朝練習に対応するため、「学校回り」の時間・便数を拡大するダイヤとなりました。

本校の登校時間に合わせたダイヤ改定は地域住民の通勤・通学を不便にするので、地域住民と神戸市交通局が何回も協議して現在の時間枠となりました。甲南病院はダイヤ改定に理解をしていただきましたが、実際に運行が始まると病院職員の出勤に支障があったため、民間の運輸会社と契約して独自にバスを運行するようになりました。このバスは出勤する職員や来院する患者のために無料で運行をしています。運行費用はすべて甲南病院が負担しています。

このように地域住民と甲南病院の理解を得て「学校回り」は運行されています。現状でも大きな負担をお掛けしていますが、「鴨子ヶ原回り」に中等生が乗車して地域・甲南病院への負担が増えると、学校と地域・甲南病院との関係が崩れ理解を得られなくなります。

中等生には「学校回り」に乗車する義務があり、「鴨子ヶ原回り」に乗車しない工夫や努力が求められるのです。